

文・写真 松澤美穂

# 地方 紀民 行鉄

## 北大阪急行電鉄株式会社



延伸工事真っ只中の北大阪急行電鉄  
今しか見られない工事中の景色に  
未来の景色を想像する  
フニクリフニクラの響く沿線を  
新しい「地元」にする人が  
きつとたくさん増えるはず

**北** 大阪急行電鉄、千里中央駅からバスに揺られて10分少々。国道を挟んで立つショッピングモールの二つの建物を結ぶ橋の上から千里中央駅方面に目を向けると、国道沿いにクレーン車が立ち並び、大きなトラックが行き来する、工事現場が広がっている。

### 期間限定の景色

北大阪急行電鉄は現在、延伸工事の真っ只中。千里中央駅から北に約2.5km線路が延びて、「箕面船場阪大前駅」「箕面萱野駅」の2駅が新設される。ショッピングモールの隣には、延伸後の終着駅「箕面萱野駅」ができる予定。

橋から歩道に下りると、箕面市が設置した工事現場を囲う壁があり、「2020年度開業目標」の文字と並んで、「梅田駅まで24分」とある。周囲を見れば、北側の住宅地の先には緑の山々が連なり、国道沿いの住宅地にも緑が点在している。大きなショッピングモールがあって、適度に自然もある、大阪の中心地・梅田まで24分の住宅地……。思わず不動産業者のようなことを考えながら、工事現場沿いを千里中央駅方面に歩いて戻る。

工事現場の壁沿いを歩いていたはずが、次第に壁が金網になり、金網が低い柵に変わる。左手には工事現場、右手には交通量の多い国道。それぞれ簡易な柵で区切っただけの工事現場とも車道ともつかない場所を歩いていることに気付く。もしかして、入ってはいけない場所に入った!? 焦って見渡した視線の先には警備員。ヒクツとした次の瞬間、

「はい、歩行者の方、通ります」と誘導される。よく見れば、ちゃんと「仮歩道」の札が掲げられている。何だ、歩いていいんじゃないか。

落ち着いて工事現場を眺めて歩けば、線路が高架になりそうな場所、地下になりそうな場所が何となく分かる、ような気もする。完成後の姿をはっきり想像することは難しいけれど、剥き出しの鉄骨が立ち並び景色を間近に見るのは、なかなか面白い。

仮歩道がいつまで設置されるかは、工事の進捗次第。堂々と国道の上を歩きながら、工事現場を予約不要で間近に見学できる期間に限られる。「期間限定」を楽しむのは、今がチャンスだ。

### 大人気カツサンド

「期間限定」の景色の後は、「場所限定」の味を楽しむに向かう。北大阪急行電鉄のご担当者・芝田有紀さんからお薦めされた沿線グルメで心惹かれたのは、大阪11粉物ではなく、歩き戻った千里中央駅の改札近くにある喫茶店のカツサンド。

ほぼ満席の店内に待ち時間なしでタイミングよく入店し、お目当てのカツサンド注文。程なく提供されたのは、8等分にカットされたカツサンド。1切れが一口二口で食べられるサイズだけれど、カツと野菜がぎっしりで、気を抜くとこぼれてしまいそう。注意しながら口に押し込む。もう一口、もう1切れ。急かされたわけではないけれど、手が止まらない。あつという間に8切れ終了。



上/延伸区間の開業目標は2020年度  
下/仮歩道は国道の上。いつまでであるかは工事次第



ショッピングモールの橋の上から千里中央駅方面を見る

### 北大阪急行電鉄

【きたおおさかきゅうこうでんてつ】

千里中央駅から江坂駅まで4駅、約6kmを走る。江坂駅でOsaka Metro 御堂筋線に乗り入れ、大阪中心地を通り、なかもず駅までつながる。箕面方面への延伸工事中で、2020年度開業目標。



Osaka Metro御堂筋線 至 梅田・大阪



桃山台駅近くの歩道橋の上から。  
北大阪急行電鉄の8000形「ポールスター号」



桃山台駅。改札は1階と2階にあり、ホームは地下。歩道からではホームは見えない



8等分にカットされたカツサンド。  
こぼさず食べるのは大変

人気のお店らしく、食べている間も来客が途切れず、テイクアウトの注文も入る。次に人に席を譲るべく、早々にお店を出る。  
さてそういえば、今日はまだ電車の写真を1枚も撮っていない。

### 「北大阪急行電鉄」の電車が撮りたい

北大阪急行電鉄の電車接近音は「フニクリフニクラ」。ホームで待っていると、昼間は約8分間隔でフニクリフニクラが聞こえてくる。ところが、北大阪急行電鉄南北線を走る電車の多くは乗り入れ運行しているOsaka Metroの御堂筋線のもの。「北大阪急行電鉄」の電車の運行は、1時間に1本程度。撮影チャンスは限られている。

まず向かうのは千里中央駅から1駅、桃山台駅近くの歩道橋。桃山台駅は、歩道の位置を1階とするなら、改札口は1階と2階で、ホームと線路は吹き抜けの地下1階。国道の上り車線と下り車線に挟まれた場所にあるため、歩道からではホームも電車も見えないけれど、歩道橋の上に登れば、見下ろせる。

目当ての電車が来るまで、まだ30分以上ある。どこからどう撮るのがベストか、次々とやって来る御堂筋線の電車で練習。いよいよ次はカメラを構え直した瞬間、頭上の雲が切れ、予定外の光が差し込み影ができる。慌てて角度を変えて撮った写真は、イマイチ。次のチャンスまで1時間、歩道橋で待ち続けるのはつまらない。車道沿いに線路をたどって緑地公園駅に移動する。

桃山台駅では歩道より下にあった線路は、

すぐに歩道と同じ高さになり、次第に高架になって見えなくなる。見えない線路を追うのを止めて、住宅地側に進むと、こんもりとした緑が広がる服部緑地に到着。

### フニクリフニクラ、さあどうだ？

大阪の中心地から電車で10分少々場所とは思えない広大な服部緑地には、乗馬センターや音楽堂、植物園まである。散歩やランニングにも最適。この辺りも良い住環境だなあと行き交う人を眺め、斜めに伸びたその影に我に返る。日が陰るのが早い。日のあるうちに、電車の写真を撮りに行かねば。

一番近い撮影ポイントは、緑地公園駅のホーム、江坂駅寄りの一番端。1駅移動した桃山台駅のホーム、千里中央駅寄りの一番端でも良いらしい。陽射しを考えれば撮影チャンスは残り1、2回。成功率の高い撮影ポイントはどっちだろうか。それとも、両方のポイントで1回ずつ撮ろうか、緑地公園駅のホームで迷っているとふいに名前を呼ばれる。驚いて見れば、声を掛けてくれたのは、北大阪急行電鉄の芝田さん。「どうですか」と沿線散策の首尾を問われ、写真が上手く撮れないかもしれないと思わず泣き付く。「プロの撮った写真を貸し出せますよ」とご提案いただき、一安心。とはいえ、できれば自分で撮りたい。

ホームの端でカメラを構える。フニクリフニクラが鳴り、北大阪急行電鉄の電車が、やって来る。フニクリフニクラフニクリフニクラ…さあ勝負！ さて出来栄は？



桃山台駅のホームから9000形「POLESTAR II」。緑地公園駅では失敗…



緑が生い茂る服部緑地には大きな池も